

デフリンピック2017 ～トルコ・サムスン～

JAPAN SPORT
COUNCIL

日本スポーツ振興センター

競技力向上事業

いざ出陣！！

作成：山本広報

■平成29年7月19日(水)

6:00 朝食
7:20 バス乗車
8:10 試合会場入り
8:15～8:35 アップ
9:00 梶下、笹島試合入り(9:30試合スタート)
10:00 梶下試合終了
10:30 親松試合入り
12:00 親松試合終了
12:30 笹島試合終了
13:00～13:45 松下、親松、翌日の試合に備え練習
14:00～15:45 ランチ、飲料買い出し
16:30 選手村到着(監督は本部へ結果報告)
以降はフリータイム
20:00 晩御飯
21:30 ミーティング開始
ミーティング終了後、就寝

【試合】男子シングルス1回戦結果

梶下、親松 1回戦勝利！！

梶下○ 6-2,6-1 ●Sai Chandan Lingapuram(インド)

親松○ 6-0,6-0 ●Joshua Andrew Anburaj(インド)

笹島● 7-5,2-6,4-6 ○Sercan Yesilova(トルコ)

松下選手は BY の為、試合なし。



17歳のインドの選手に勝利した梶下選手。
危なげなく順当に勝利。
8年前の台北デフリンピックの銀メダリストということもあり
試合後に取材を受けました。
注目されているようです。
次戦は第1シードである前回デフリンピック金メダリストとの
対戦です。



親松選手もインドの選手と対戦し、圧倒的な強さを見せ
デフリンピック初勝利！！
落ち着いて自分のプレーをしていました。
相手選手は23歳とまだ若い選手の様です。



笹島選手はトルコの一番手と対戦し、3時間の激闘も残念ながら敗戦してしまいました。
相手選手は笹島選手と同一年だそうです。
相手は地元トルコの選手なので、ギャラリーも多く完全アウェーの中でしたが、
笹島選手は臆せず気合を入れ、自分のプレーをしていました。
2セット目に足を負傷するアクシデントがあり、3セット目に勝負をかけましたが惜しくも勝利は実らず。
試合後、悔し涙を流しましたが、トルコの多くの人々に温かい優しいメッセージを頂き、感動したそうです。
笹島選手は気持ちを切り替え、ダブルスに集中する！と言っていました。



笹島選手の試合を見守る日本チーム



試合終了後、ショッピングモールへ昼食をとりに向かうと、偶然鈴木スポーツ庁長官と薬師寺みちよ議員と出会い、昼食をご一緒させて頂きました。

齊藤監督コメント

男子シングルス1ラウンドは選手3人出ました。

海に近い為、弱風だったり強風だったり厳しい条件の中選手達はしっかりプレーをしていました。

梶下選手、親松選手はいつもの通りのプレーで圧勝。

笹島選手は国際大会初出場です。

相手がトルコ選手でギャラリーが完全アウェイでしたが気合いでしっかりプレーして粘ってプレーして良かったです。

2セットでアクシデントが起こり足攣ってしまいました。

このままでは危ないと思い2セット目を捨て体力を温存する作戦とし、

3セットに入りいつものプレーを取り戻し頑張っていましたが残念ながら敗退しました。

でも初出場にも拘わらずよく頑張ったと思っています。

悔しかったがダブルスで勝負すると気持ちを切り替えています。

明日に備えてゆっくり休んでいきます。

明日は男子シングルス2回戦です。

全員がシード選手との対戦となり、そして松下選手の初出陣です。

頑張れ！日本！